

和気町議会だより

和気議会 NAVI

和気町議会
第75号
令和6年
12月定例会

② 視察報告 総務文教常任委員会

④ 12月定例会より ⑥ 質疑と答弁 ⑧ 委員長報告 ⑨ 一般質問



視察報告 総務文教常任委員会

令和6年10月29日～30日
大分県
豊後高田市・宇佐市

出席した委員会
メンバー

山本 稔(委員長)
当瀬 万享
山本 泰正
我澤 隆司
山田 浩子

大分県の瀬戸内海沿岸の二つのまち、豊後高田市と宇佐市へ調査研究視察に行ってきました。

両市とも「住みたい田舎ベストランキング※」上位常連のまち。今回の調査研究のテーマは「移住定住」と「議会改革」を選びました。年に一度の委員会としての視察ですが、2日間にわたり、両市の協力を得ながら、講義と現地視察を交え内容の濃いものとなりました。ここに報告させていただきます。



豊後高田市 概要

- 人口: 21,748人
- 面積: 206.24km²

瀬戸内海に面し、温暖な瀬戸内気候のまち。「豊後高田昭和の町」が2017年のアジア都市景観賞を受賞した。ふるさと納税された寄付金をすべて子育て支援に活用するなど、子育て支援の町としても有名。



移住定住について

豊後高田市

視察・調査内容

住みたい田舎ランキング13年連続ベスト3、
5年連続全部門1位の取り組み

ふるさと納税された寄付金約4億円のうち約2億円を子育て支援で活用するなどして、0歳児から高校生までの医療費無料、保育園から中学校までの給食費無料化(地元の高田高校生も無料提供予定)など徹底した子育て支援を実施している。幼小中の普通教室の冷暖房完備や奨学金の支援事業など、目を引くものもあった。

さらに、高齢者への支援について

も、昨年度からの敬老会への補助金の倍増や、祝い金も手厚くするなど「高

齢者も住みやすい田舎」をアピールしていた。

財源の手当てのやり方、住民への多くの補助金の提示など、一歩先行した施策の積み重ねは大変参考になった。

※宝島社の雑誌「田舎暮らしの本」が2013年2月号から発表するランキング。全国547の市町村に314項目をアンケートし、田舎暮らしの魅力を数値化、人口別に7グループに分けそれぞれ4部門のランキングを発表している。



★人口1万人以上3万人未満のまち

総合部門

第1位 大分県豊後高田市
第2位 鳥取県琴浦町
第3位 兵庫県朝来市

若者世代・単身者部門

第1位 大分県豊後高田市
第2位 茨城県境町
第3位 鳥取県琴浦町

子育て世代部門

第1位 大分県豊後高田市
第2位 茨城県境町
第3位 岐阜県飛騨市

シニア世代部門

第1位 大分県豊後高田市
第2位 大分県杵築市
第3位 兵庫県朝来市

大分県豊後高田市の魅力

□ライフスタイルやライフステージに応じて活用できる移住・定住施策は、全186項目におよぶ
□高校生までの医療費、中学生までの給食費、保育料・幼稚園授業料を無料化。高校生の給食費も無料化予定
□景観の美なるがの温泉や、シニアカー購入・レンタル費用補助など、シニアも住みよい環境づくり

高田市長
佐々木 敬夫氏
コメント

まちの未来への投資を今後も続けてまいります

2025年4月から、市内唯一の高校である高田高校の生徒に無料で昼食を提供する準備を進めています。これが達成できると、0歳から高校生までの「医療費、授業料、給食費」が完全無料化となります。子育て支援は未来への投資。人口増を目指してこれからもスピード感を持って取り組んでまいります。ぜひ本市へお越しいただき、まちの魅力を感じていただければ幸いです。

一歩先を行く施策を
積み重ね
5年連続で
全部門1位を達成！



長崎県リソートキャンプ場は、菜の花やひまわりなど季節の花の名所としても人気。



「日本の夕陽百選」選定の真玉海岸。夕暮れと干潮が重なる美しい朝顔様が見える。



豊後高田市研修風景



宇佐市高校生議会の様子

宇佐市 視察・調査内容 議会改革について

高校生議会

平成28年より、議会や政治への理解と関心を高める観点から、高校生議会が開催されている。市内5校、各4名程度の生徒が参加し、実際に施策として実現した提案もあった。和気町で開催されている中学生議会とともに、高校生の視点からの提案も、和気町にとつて有意義な取り組みになるのではないだろうか。

タブレット端末の使用

令和2年よりタブレットを導入し、紙との併用期間を経て、令和3年から完全タブレットによる議会が始まっている。経費や労務作業の削減などの効果が出ている。ただし、タブレットを補完するための紙資料は必要である。和気町でもタブレットが導入されたが、使い方のさらなる講習や、ZOOM会議の体験会などを開催してはどうか。



新しくなった宇佐市議場にて

宇佐市 概要

●人口：51,955人

●面積：439.05km²

全国2万社の八幡宮の総本宮である宇佐神宮があることで有名。大分県内有数の観光都市。

和気町とは、和気清麻呂公と宇佐神宮という深い縁により、平成元年に姉妹都市提携。

✓ 視察を通じて

今回の視察を通して和気町の移住定住に生かせると思われる補助金、奨励金や、さらなる移住定住策、高校生議会など各委員が感じていると思います。また議会改革について、すぐできるものは取り組んでいきたい。今後の各議員の活躍を期待したい。
(山本委員長)





12月議会の
動画一覧は
こちら

12月

／こんなことが決まりました／

議会定例会

令和6年12月3日～13日

補正予算（第5号）

● ふるさと納税寄附金（歳入）…………… 1億5,600万円

和気町の支援者が増えたことに伴う寄附額を増額し、今年度の見込額は、3億5,700万円となった。

● 児童手当制度改正に伴う変更（国庫事業）…………… 3,495万円

所得制限の撤廃、支給期間の延長、多子加算の拡充、支給回数の増加

条例

● 和気町地域学習交流センター条例の制定について

和気閑谷高校の生徒等、一定期間滞在して学習研修を行う者への支援、地域との関わりを持つ機会の創出による人材育成及び町の活性化に資することを目的として整備するものです。

● 和気町営バス運行事業に関する条例の一部を改正する条例について

町営バスの運行路線及び便数を増やし、町民の生活における移動手段の利便性を向上するものです。

● 和気町営住宅条例の一部を改正する条例について

公営住宅優先入居の対象世帯の見直しを行うものです。

賛否の状況

賛否の状況

※賛否が分かれた議案のみ掲載

議案等の名称	山野	山田	我澤	從野	神崎	山本	居樹	万代	山本	広瀬	西中
	英里	浩子	隆司	勝	良一	稔	豊	哲央	泰正	正男	純一
和気町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

請願・陳情

請願・陳情	内容	提出者	審査結果
請願	「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書採択の請願について	岡山県教職員組合東備支部 支部長 土谷 涼太郎	全会一致で 趣旨採択
陳情	和気町の児童館におけるランドセル来館事業を求める陳情	野島 竜也	全会一致で 趣旨採択

一部事務組合議会

和気町・赤磐市の一部の事務を共同で行うため、一部事務組合を設置しています。

一部事務組合の議会は、構成する和気町・赤磐市の議会から選出された議員が、予算や決算等について審議します。

(令和6年10月11日開催)

組合名	審議された内容
和気北部衛生施設組合	①令和5年度決算が認定されました。
	②決算認定に伴い、繰越金が確定したため補正予算を行いました。
	③令和7年3月をもって、岡山県市町村総合事務組合を脱退することが決まりました。
和気・赤磐し尿処理施設 一部事務組合	①令和5年度決算が認定されました。
	②決算認定に伴い、繰越金が確定したため補正予算を行いました。
和気老人ホーム組合	①令和5年度決算が認定されました。
	②決算認定に伴い、繰越金が確定したため補正予算を行いました。

(令和6年12月24日開催)

組合名	審議された内容
和気北部衛生施設組合	岡山県市町村総合事務組合からの脱退に伴い、清算金が生じたため、補正予算を行いました。
和気・赤磐し尿処理施設 一部事務組合	令和7年4月より「和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合」から「和気・赤磐環境衛生施設組合」へ移行に伴い、次のことが決まりました。
	①参与を廃止し、職員定数等を改正しました。
	②吉井川ふれあいパークの整備に組合施設整備基金を使用できるようになりました。
	③「和気・赤磐環境衛生施設組合」に移行するため、関係条例の整備を行いました。
和気老人ホーム組合	④「和気・赤磐環境衛生施設組合」へ移行するため、岡山県市町村総合事務組合規約の変更を行いました。(すべての構成団体で議決が必要)
	「和気・赤磐環境衛生施設組合」へ移行するため、岡山県市町村総合事務組合規約の変更を行いました。(すべての構成団体で議決が必要)

質疑と答弁

本会議において次のような質疑と答弁がありました。



和気町地域学習交流センター 条例の制定

中学生や町外の方の利用は
できないのか

山野 英里 議員

Q オープンスクールなどで中学生は利用できないのか。また、自主活動を行う団体が広く地域住民を対象に行う事業のために利用する場合に、使用料の免除とあるが、町外の自主団体なども利用できるのか。

A 寺尾 まち経営課長

体験入寮をしている他市町村もあるので、高校とも相談しながら検討したい。町外の方でも、地域学習交流センターの設置の目的などに合致するような活動内容であれば減免の対象になる。

和気町営バス運行事業に関する 条例の一部を改正する条例

増員や増車はあるのか

從野 勝 議員

Q まちなか線、佐伯和気線が増便するが、人員や車両は増やすのか。

A 河野 危機管理室長

まちなか線は、車両を町が新たに1台用意し、運行はタクシー事業者に委託する。その他の部分は、現行の運転手で運行する。

停留所の配置の見直しは

居樹 豊 議員

Q 集落の中心に停留所を配置してほしいが、進入路が狭いがどうなるのか。

A 河野 危機管理室長

地元との協議のうえ、今回、少し小さい車両でコミュニティハウスまで入るように計画している。

和気町公益的法人等への 職員の派遣等に関する 条例の一部を改正する条例

条例改正の理由は

山本 稔 議員

Q なぜシルバー人材センターに職員を派遣するのか。

A 則枝 総務部長

この条例は、国の定める公益的法人への職員の派遣ができるもの。シルバー人材センターもその公益的法人の一つであり、今後要請があれば派遣ができるように定めるものである。



和気町若者及び子育て世帯の定住化促進に係る固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例

固定資産税の減免は

神崎 良一 議員

Q ①減免金額は。

②民地と官地と税率は同じか。

A 豊福 税務課長

① おおむね新築住宅十数万円で固定資産税が建物に発生する。令和5年度は16件で約160万円から180万円。今年度は18件で180万円から200万円程度になる。
② 税率は同じ。

和気町国民健康保険税 条例の一部を改正する条例

何年維持できるのか

西中 純一 議員

Q 3年ぶりの値上げだがこれでどれだけ収入アップになり何年ぐらいもつか。

A 豊福 税務課長

税率を8・0%を8・3%にし、単純計算で1380万円増収が見込まれる。しかし、令和8年度には467万9千円赤字が見込まれる。来年度も料金改定をお願いする方向になると思われる。

質疑と答弁の動画は
こちらから！

その1



その2



その3



その4



令和6年度 和気町一般会計補正予算

補助金の減額による影響は

山田 浩子 議員

Q 有機農業産地づくり推進緊急対策事業補助金が433万5000円減額されている。全国的に要望が多く、国から減額されたようだが、今年度の事業に対する影響はないのか。

A 岡 産業振興課長

この事業は補助率10分の10で非常に有効な財源である。減額に伴って事業内容の調整をしながら今年度の事業をやり切っていく。

ふるさと納税の補正内訳と経費率は

我澤 隆司 議員

Q ふるさと納税の1億5600万円の補正内訳と全体の経費率は。今後の見通しはどうか。

A 寺尾 まち経営課長

通常版のふるさと納税が1億5000万円、企業版ふるさと納税が600万円。内容は、今年度も、80%近くが米。今後は米以外のプロモーションが必要と考えている。経費率は、返礼品に使える金額は30%以内、送料や事務手数料などが20%以内で合わせて50%以内と決められおり、その範囲内。

設計委託料は適正か

山本 泰正 議員

Q 専決処分的一般会計補正第5号では、設計委託料50万円は工事費の20%と異常な額となっている。林業振興費の工事請負費204万6千円を計上しているが設計委託料の計上はないのか。

A 岡 産業振興課長

美しい森の場合内整備工事費で、町職員が設計した。

意見

簡易な工事については、専門の技術職員がいらないとはいえ、職員が測量設計することは大変良いことだ。今後も職員養成とともに頑張っていたきたい。

4400万円の補助金は何か

西中 純一 議員

Q 地域医療介護総合確保基金事業費補助金は何か。

A 万代 民生福祉部長

これは小規模多機能型居宅介護事業所の施設整備のための補助金である。

防災士の活用は

居樹 豊 議員

Q 防災士育成事業（補助金104万8千円）の有効活用はどのように考え

ているのか。

A 河野 危機管理室長

今回の受講者は21名で、これまでの資格認定者が30名おり、今後地域の防災活動、啓発などに向け、組織づくりをしたいと考えている。

佐伯グラウンド駐車場の利用状況は

山野 英里 議員

Q 週末の利用頻度はかなり高い状態であると記載があるが、実際の利用状況は。駐車場10台の区域は、ファウルポールなどで危険なためにあまり使用されていない。この対策は。

A 森元 社会教育課長

冬以外のシーズン中は、ほぼ毎週末ずっと使っている。10台の駐車場に関しては今回グラウンドの改修工事で検討してみたい。

令和6年度 和気町下水道事業会計補正予算 処理場廃止検討業務の内容は

山本 稔 議員

Q 父井原の処理場廃止検討業務は農業集落排水のことか。

A 柚本 上下水道課長

その通り、農業集落排水事業の施設だ。

父井原農業集落排水処理場はどこに接続するのか

西中 純一 議員

Q これは父井原の農業集落排水事業の処理場が同じ父井原区の佐伯浄化センターへ接続されるようになるということか。

A 柚本 上下水道課長

父井原の処理施設を廃止後、佐伯浄化センターで処理する。



廃止を検討している父井原農業集落排水処理場

委員長報告

和気町議会には、2つの常任委員会と
1つの特別委員会があり、
付託された議案について、特に詳しく審議します。



総務文教常任委員会

委員長 山本 稔

委員会に付託された議案8件については、いずれも全会一致で可決された。その中で議案第92号和気町地域学習交流センター条例の制定では、利用料金が高いのでは、学習交流スペースの営利活動はどんなものかについて質疑があり、利用料金は現在の料金や他の施設など参考にしている、営利活動は業者による営利目的のものとの回答があった。また議案第93号和気町営バス運行事業に関する条例の一部を改正する条例、増便の根拠や利用者についての質疑では、アンケートによるもので、どれくらい利用が増えるかわからないとの答弁があった。

議案第94号和気町公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例では、この条例は職員の退職者の受け皿になるのかとの質疑に、65歳までの職員を

派遣するもので受け皿にはならない。また議案第102号令和6年度和気町一般会計補正予算第5号では、佐伯グラウンドの設計委託料と年間利用について、設計委託料については直営でできるものはできる限り直営でやって行く、年間利用は226日。満車で止められない車をサエスタに20台ぐらい止めているため増設工事を行う。地域学習交流センターの備品は当初設計費用に入っていなかったもので追加補正した。にこにこ園の報酬については予算計上時、入園する園児数がわからないので、最大人数で見積もっていたため減額したとの答弁があった。

請願第2号については、様々な意見が出されたが賛成多数で趣旨採択となった。

厚生産業常任委員会

委員長 神崎 良一

委員会に付託された議案12件はいずれも全会一致で可決された。

その中で議案第101号和気町営住宅条例の一部を改正する条例について、町営住宅の状況などの質疑があり、住宅の申し込みが少ない状態が続いている。また、移住者の方には2年間限定にはなるが部屋を用意していると答弁があった。

議案第102号令和6年度和気町一般会計補正予算(第5号)について有機農業産地づくり推進緊急対策事業補助金が減額されているが、事業規模が縮小されるのではとの質疑があり、事業の展開として①推進啓発②栽培技術の普及定着③販売の確保促進④担い手の確保の4つの柱を基本に

補助金に頼らない事業展開を工夫しながら進めると答弁があった。

議案第103号令和6年度和気町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)についてはマイナンバーカードの紐付けの質疑があり、早くにマイナンバーカードを作った人も役場窓口やスマホでご自身で紐付けしている。紐付けを希望される人は役場窓口にご相談してほしいと答弁があった。

陳情第2号和気町の児童館におけるランドセル来館事業を求める陳情については全会一致で趣旨採択となった。

和気鵜飼谷温泉事業特別委員会

委員長 西中 純一

議案第107号令和6年度和気町和気鵜飼谷温泉事業特別会計補正予算(第2号)について、審査の結果全会一致で原案可決された。審査の過程において、今回減額補正4,444万9千円となっているが、当初の目標値は撤回するのか継続するのかとの質疑に対して、当初の予定通りの計画で、月々で計画をクリアしていくことにしている。と答弁があった。

別の委員から、ラーメンハウス食事料の減額理由は、との質疑に対して、当初予算で売り上げを計上していたが、会計年度

任用職員の退職により営業できていないため減額している。今後はプロポーザルを実施し使用者の選定を行いたいとの答弁があった。別の委員から工事請負費の減額内容とロッカー修繕の工期はとの質疑に対して、減額内容はロッカー修繕工事の1,400万円と空調等の改修工事費の入札残419万5千円の減額である。修繕工事の工期は12月25日、26日の2日間を予定しているとの答弁があった。



ズバリ!
ここが気になる!

一般質問

〈一般質問とは〉

一般質問とは、議員が和気町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を執行機関(町)に求め、適切な町政運営を進めているか議員がチェックするものです。

一般質問は一問一答方式で行われ、質問時間は質問・答弁を合わせて40分間です。

議会だよりでは、議員本人が執筆(要約)したものを掲載しています。

12月議会定例会では8人の議員が質問しました。



PAGE
10

山野 英里議員

- ・ 安心・安全に暮らせるように有害鳥獣対策の強化を
- ・ GIGAスクール構想のさらなる推進で町内の問題解決を

PAGE
11

山田 浩子議員

- ・ 安心・安全なまちづくりの取り組みは
- ・ AEDの中に三角巾を
- ・ 温暖化による体育活動への影響は

PAGE
12

居樹 豊議員

- ・ どうする危険空き家
- ・ 耕作放棄地の対策強化を
- ・ 新たな観光振興などによる町の活性化を

PAGE
13

山本 稔議員

- ・ 学校給食費無償化実現はできないか
- ・ 町主催イベントスケジュール、宣伝は今のままでいいか
- ・ 佐伯インターのところに緊急ヘリポートはできないか

PAGE
14

我澤 隆司議員

- ・ 商業施設、飲食店、書店など、空白地域への誘致の現状は
- ・ 国際交流の現状と今後の考えは
- ・ 森林環境譲与税、地方たばこ税の使い道は

PAGE
15

西中 純一議員

- ・ 水道水を安全に飲めるようにするべきでは
- ・ 和気町役場の情報公開をもっと進めるべきではないか
- ・ 町政懇談会の改善をするべきでは

PAGE
16

神崎 良一議員

- ・ 和気町のごみ問題とその対策は
- ・ 日笠バラ園の運営は

PAGE
17

山本 泰正議員

- ・ 和気町型アダプト事業を展開できないか



安心・安全に暮らせるように 有害鳥獣対策の強化を

Q 農作物の被害だけではなく、人的被害の予防などの観点からも、被害が拡大する前に様々な策を講じていく必要がある。新人猟師が安心して経験を積むために、町が主体となって新人猟師と経験豊かな猟師をつなぐことはできないか。また、有効な誘引剤があれば捕獲率も上がるので、大学や企業と協力をしながら研究をしていく必要があるのではないか。

Q 神戸市では市民に対してイノシシなどの対処方法を記載したチラシを配布している。また、主にイノシシに食物を与えることを規制することにより、人の生命及び身体及び財産に危害を加えることを防止することを目的にした条例まで定めている。町でも条例が必要ではないか。

A 岡 産業振興課長

令和5年度の獣害による水稻被害申告面積は、和気町全体で2・8ヘクタールであり増加している。猟友会と協力して、初心者に向けて情報共有ができるように体制づくりを進めていきたい。誘引剤については、民間企業からゴム製品にトウモロコシなどの匂いを付着させた試作品の提供があった。今後、実証実験を増やしていく。



ゴム製の誘引剤を使用して
実証実験もしている



市民へ向けての
啓発チラシ

A 太田 町長

今後とも生活が脅かされないような施策に取り組んでいきたい。町民にも気をつけていただくように啓発をしていきたい。条例については、それぞれの自治体を研究して必要であれば今後、検討していく。

A

今後とも生活が
脅かされないような
施策に取り組んでいきたい

動画はこちら



GIGAスクール構想※のさらなる推進で、町内の問題解決を

Q 1人1台端末のさらなる活用によって個別最適な教育を推進すれば、困り感がなくなり、主体的に学ぶことができる。また、生活面への支援も必要だ。子どもたちのスケジュールなどを本人が理解しやすくするアプリもある。アプリを有効活用すると教員の業務負担も減り、働き方改革にもつながる。より有効活用はできないのか。

A 嶋村 学校教育課長

誰一人取り残さない学び、個別最適な学びを実現していくことは、大変重要なことだ。有効なアプリをどのように取り入れていくのかは、研究を続けていく。

Q 教育版マイクラフトとは、ブロックの組合せでオリジナルの世界を構築するだけでなく、その中でクラスメイトと共同作業を行いながら、プログラミングを学べる教材だ。楽しみながら共同して学べるだけではなく、地域の問題解決にも寄与することができる。廃校や旧大国家住宅などの活用方法を多くの人々が考えることができるので、導入することはできないか。



教育版マイクラフトで
1つのテーマについて
多くの人々が共同して
考えることができる

A 嶋村 学校教育課長

教育活動に有効なアプリとして社会科や総合的な学習の時間などで効果的に活用されている実践がある。教育用のアプリはそれぞれの特徴があり、導入にあたっては各校の教育活動のねらいにに応じていることが重要だ。



意見

1人1台端末というのは、その子の人生を変えるかもしれない無限の可能性を持った最強の文房具だ。

※GIGAスクール構想

1人1台端末、および高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、個別最適化され創造性を育む学びを持続的に実現させる文部科学省の構想。

山野 英里 議員





安心・安全な まちづくりの取り組みは



備前警察署とも綿密に
連携を取りながら
取り組んでいきたい

動画はこちら



山田 浩子
議員



Q 現在、様々な事件が多発している。事件・事故の状況証拠、犯人特定などに防犯カメラは有効である。警察の協力のもと、設置状況を点検し、増設した方がいい場所がないか確認しては。また、有事の際に画像提供はスムーズに行えるのか。カメラの画像は悪くないか。

A 河野 危機管理室長

警察署とも協議しながら進めていきたい。防犯カメラの効果は、最大限有効なものになるよう、適切な位置に設置して、町民が安心して過ごすことができるよう取り組んでいきたい。警察に画像提供を求められた時はスムーズに対応できる。事業開始より10年以上経過しており、古いものは交換していかなければならない。

A 則枝 総務部長

非常に重要な箇所でありながら画像が良くない事例も確認している。そういったカメラの更新、また警察と確認しながら、新規の箇所への設置に努めていきたい。



安心・安全な生活のために有効な活用を

AEDの中に三角巾を

Q 昨年6月議会でも質問したが、その後研究されたのか。防災士、消防士の方にも確認したが、AEDに三角巾を入れることに何も問題はない。透けにくいオレンジ色の三角巾を入れている所もあり、多くの自治体が導入している。

A 河野 危機管理室長

女性への配慮は必要であるが、使用に誤りがあつてはいけない。誰もがAEDを正しく使えるようにするうえで、慎重に考えていかなければならない。もう少し研究させてほしい。

意見

AED使用時には音声で指示が流れる。三角巾も使用方法が明記しており、誤使用の心配はないと思われる。安価なものでもあり、なぜそんなに導入できないのか疑問。さらなる研究で二日も早い導入を。

温暖化による体育活動への影響は

Q 今年も大変暑い時期が長く続いたが、十分な体育活動ができたのか。プール指導に支障はなかったか。また、熱中症対策として体育館にエアコンを設置する考えは。

A 嶋村 学校教育課長

健康観察、適宜な休憩、水分補給、日陰や保冷剤の活用など、実態に応じた対策を講じている。今年度、体育活動において中止や変更があった学校は3校。中学校のプール指導については鵜飼谷温泉屋内プールを利用しており、支障は生じていない。小学校のプールの老朽化に合わせ、屋内プールの利用も検討していくことになるかと思われる。今後は、教育課程編成の工夫も必要であるとする。エアコン設置については、避難所となる学校体育館の空調設置に対する国の動きも活発になっている。

A 徳永 教育長

町長からエアコン設置にかかる様々な要件、課題等について検討するよう指示を受けている。有利な国の補助事業なども見ながら前向きな検討を進めている。



和気鵜飼谷屋内温水プールの利用も検討しては



どうする 危険空き家

Q 町内には空き家が増加しており、特に倒壊リスクの高い空き家については、喫緊の課題である。今後の考えを伺いたい。

A 西本 産業建設部長

令和4年度の空き家実態調査では、986戸を確認している。解体にあつての公費補助については、現在、空き家等対策計画を策定中で令和7年度中に解体、除去に対する補助金交付要綱の策定を行う予定である。

長期間にわたり相続が行われていないケースや県外地権者など難しい状況もある。今後は、補助金制度の活用や税金の除外なども考えている。

Q 公的補助については、社会的な問題として早急な検討が必要ではないか。

A 太田 町長

全国的にも深刻な問題になっており、本町においても喫緊の課題であり、空き家等対策計画を策定し、効果的な対応を図っていききたい。



倒壊リスクの高い家屋

耕作放棄地の対策強化を

Q 農家の現状は、高齢化・後継者不足等により深刻な問題に直面している。耕作放棄地は自然環境を損なうだけでなく、有害鳥獣の住処や近隣農家、住宅にも影響を来しており今後の強化策を伺いたい。

A 岡 産業振興課長

町内の農地面積は1,200ha。耕作放棄地は令和5年度205haで増加傾向にある。

農地所有者には、まず地元区長、農業委員などと相談を行う。対応が困難な場合は農地所有者もしくは管理者に指導文書を送付している。

今後は地域に出向き持続可能な農業経営につながる環境整備に努め、農業委員会と連携を密にし、総合的な農業施策を推進していきたい。

A 今田 副町長

地元の聞き取りの中から具体的な地域課題を見つけ、柔軟な利用計画を考えていきたい。

新たな観光施策による町の活性化を

Q 人口減少化の下で町の魅力化は重要課題である。自然環境に恵まれ、交通アクセスも良く環境条件を生かした観光を柱とした交流人口増の対策を伺いたい。

A 岡 産業振興課長

本町には和気鵜飼谷温泉をはじめ、益原多目的公園、和気美しい森など多くの観光施設があり積極的に活用する企画をぜひ考えていきたい。

A 今田 副町長

観光業務は本町の地域振興にとって重要な位置を占めており優先順位を明確にして、重要施策に集中させることで、効果的な推進を図っていく。また、民間事業者や観光協会などの連携を強化し役場単独では対応が難しい部分を補完する仕組みを構築したい。



人気の和気美しい森

佐伯B&G
海洋センターのカヌー体験



動画はこちら



居樹

豊議員





学校給食費無償化 実現はできないか



国の補助などがあれば
実現に向け検討

動画はこちら



山本
稔議員



Q ①現在、給食にかかる経費と町の補助、保護者の負担はいくらか。
②佐伯調理場の経費はいくらかかっているのか。本荘調理場と合併し、その経費を給食無償化に充ててはどうか。

A 新田教育次長

①現在学校給食にかかる経費は令和6年度当初予算で1億3476万1000円で食料費高騰分補助金を除くと1億3028万5000円でそのうち町の補助(第2子半額、第3子以降無料)は1341万円、保護者の負担は、4840万8000円程度である。

A 徳永教育長

②佐伯調理場については当分の間現状のままで給食を受配していく。佐伯地域の学校の在り方について結論を得るのが先だと考えている。無償化については近隣市町村の動向を見ながら、町長、関係各課と協議を重ねていきたい。

A 太田町長

県議会議員あてに学校給食の無償化にかかる財源の確保を求める意見書を国に提出するよう求めている。国から特別交付金などがあれば無償化の方向で検討したい。



学校給食調理風景

町主催イベントスケジュール、宣伝は今のままでいいか

Q 町主催のイベントや会議が重なっている、庁舎内でスケジュール管理ができていないか、駐車場の確保も問題があるのではないか。

A 則枝 総務部長

今年度、イベントや会議が重なった事例が発生しており、庁舎内で情報共有が不十分だったと認識している。事態を改善するためイベント等の日程を共有できる仕組み作りを整備している。

A 西本 産業建設部長

イベントのPRや宣伝は、チラシやホームページ、告知放送、新聞、テレビなどで行っている。駐車場不足の解消は長年の課題であり駐車場の増設も進めているが出展者、主催者の分散駐車や、シャトルバスの運行についても検討したい。

佐伯インターのところに緊急ヘリポートはできないか

Q 佐伯インターのところに県有地がある、そこに緊急ヘリポートはできないか。

A 永宗 総務事業部長

佐伯には吉井川兩岸と、佐伯グラウンド、ロマンツェ多目的広場の4か所にあり、佐伯地域はカバーしている。提案の場所は考えていない。



美作岡山道路佐伯インターの残地



商業施設、飲食店、書店などの空白地域への誘致の現状は

Q 佐伯地域など空白地域に誘致を行ってきたか。食の企業誘致のハードルは高いが、意義があると考えてるが。

A 寺尾 まち経営課長

近年、町から誘致に向けた具体的なアクションは起こしていない。

Q 書店については和気町内には存在しないが、どう考えるか。図書館流通センターという企業が、各地の図書館で本を販売する実証実験を行うことについては。

A 寺尾 まち経営課長

和気町への書店誘致は困難だ。図書館で本を売るといふ実験は、成功すれば検討する価値は十分あると考える。

意見

困っている人を助けるのが行政であり、政治だ。今回の質問は、食のインフラとしての商業施設、飲食業など、企業の店舗誘致の話。まずは情報収集。プロモーション活動を始めないと何も始まらない。



食のインフラとしても期待したい佐伯地域飲食店企業誘致に

A

近年、誘致に向けた具体的なアクションは起こしていない

国際交流の現状と今後の考えは

Q 中国の上海市嘉定区やカナダのアルバータ州ハナ町との交流があったが、現状と今後は。

A 寺尾 まち経営課長

コロナ禍以降、再開されていない。現在、国際交流の取り組みは、小・中学校で行われているオーストラリアとの遠隔交流がある。さらに来年度はホームステイ事業を計画している。上海市嘉定区からも交流事業再開の話も出ている。



オーストラリアの小学校と遠隔交流

Q 町内には海外拠点を持つ企業がある。ビジネスで海外とつながっている地元の企業との連携が欠かせないと思うが、現状の取り組みは。

A 太田 町長

町内企業と海外の交流について話をしたことはないが、今後、話をさせていただきたい。

意見

海外派遣する国際交流は、子どもたちの人生を大きく左右する可能性がある事業だ。最優先で考えていただきたい。

動画はこちら



我澤 隆司議員



森林環境譲与税と地方たばこ税の使い道は

Q 目的税である森林環境譲与税。6年間の譲与額と使い道は。

A 岡 産業振興課長

6年間で2672万円の見込み。森林の現況調査や所有者への意向調査などに充てている。和気美しい森の木製遊具の修繕などにも活用。不要額は、基金に積み立て1018万円の残高。

Q 市町村たばこ税は目的税ではないが、年間9000万円弱の税収がある。公園や和気駅周辺を禁煙にした上で、分煙対策を講じるべきではないか。

A 則枝 総務部長

一般財源として活用して、分煙対策などには使っていない。喫煙する方、しない方が共存できるまちづくりに努めたい。

意見

受動喫煙による国内での年間死者は68000人というデータもある。せめて税収の10%くらい、禁煙や分煙対策に使ってもいいのではないか。



水道水を安全に飲める
ようにするべきでは

A

水質基準に適合しており
安心していただきたい

動画はこちら



西中純一議員



Q 環境省と国土交通省の水道水の全国調査において、岡山県の8水道事業からPFAS*が検出された。その内町内では、南部簡易水道24ナノグラム、吉田簡易水道19ナノグラム、上水道事業12ナノグラムの3か所であった。町民の方は不安に思っている。安心していいのか。また、供給している飲料業者に報告したか。

A 柚本 上下水道課長

調査結果は水道事業としては3か所入っていた。上水道は宿と田原水源地とあるので井戸としては4か所になる。検査の結果は水道法第4条により決められた水質基準に適合しており、PFOS、PFOAの水質管理目標は、水1ℓあたり50ナノグラム未満となっているのでまずは安心していただきたい。

上水道から飲料業者に供給しているが、既に水質検査結果は和気町のホームページでも公表している。事業者への報告は、対象区域には飲料業者のほかに食品業者、それから飲食店もある。また現時点では健康を害することはないと考えられるので、個別の周知はしていない。

和気町の水源は浅井戸で地下水をくみ上げ消毒処理のみをして供給している。PFASに係る有機フッ素化合物を除去するためには活性炭吸着処理が一般的だが、100%除去することは難しい。この污水处理施設を構築するには1つの水源に数億円程度の費用が生じると考えており、水道を使用する町民の負担は避けられないと考えている。

※PFAS(ピーファス)

人工的に作られた「有機フッ素化合物」の総称で1万以上の種類がある。代表的な物質として、PFOS(ピーフォス)と、PFOA(ピーフォア)がある。これらの物質は、産業利用に適している反面、自然界に放出されるとほとんど分解されないまま残り、生物に取り込まれると体内に蓄積されやすいことから、国際的に禁止・規制されている。

和気町役場の情報公開をもっと進めるべきではないか

Q 入札結果や入札情報が町のホームページに出されないが、もっとホームページ上にも情報公開を進めるべきでは。

A 則枝 総務部長

町では令和4年度より岡山県電子入札共同利用推進協議会に参加している。工事と業務委託については岡山県電子入札共同利用システムの電子入札システムを利用した電子入札で請負者の決定を実施している。この入札システムの利用に伴い入札情報と入札結果について情報公開をしており、誰でも入札結果などを閲覧できるようになっている。他の自治体ではホームページに入札情報公開システムのリンクを掲載して入札結果の公表をしている。和気町も同様の仕組みづくりに向けて作業を進めていきたいと考えている。

町政懇談会の改善をするべきでは

Q 町政懇談会の実施方法については工夫しているが参加者が増えない。土日の日程も考えたり、子どもの保育室も準備したほうがいいのか。

A 則枝 総務部長

いろいろ工夫もしてきたが参加者は減少している。今後とも議員皆さんの意見も参考に改善をしていきたいと考えている。



和気町のごみ問題と その対策は

A

ごみ搬出量の削減と リサイクル率の向上を 目指す

動画はこちら



神崎良二議員



Q ごみ問題の解決方法は。

- ① 現在の和気町のごみの量は。
- ② クリーンセンターのごみ処理能力は。
- ③ 今後の対応は。
- ④ リユースや製品プラスチックの分別収集の具体策は。
- ⑤ 『ジモティー』は知っているか。

A 万代 民生福祉部長

① 可燃ごみは年間2539t、粗大ごみは63t、不燃ごみは48t、生ごみは453t、その他資源ごみは367t。近年のごみの量の傾向は、可燃ごみは横ばいで、生ごみや資源ごみの量が減少している。各家庭から排出されるごみの分別の精度が悪くなっている。

② 粗大ごみ、不燃物については特に問題なく、クリーンセンターの処理能力内で処理ができています。可燃ごみについては、1日の処理能力が10tの炉で焼却処理を行っているが、年間2539tを1日に換算すると10.9tになる。平日のみではごみを焼却することが困難で、土曜日の焼却を行わざるを得ない状況が近年続いている。

③ ごみ搬出量の削減とリサイクル率の向上を図ることを目指し、分別意識の向上とごみの減量化は、環境衛生指導員を通じての周知や広報誌での周知など予定している。また、リサイクルの新たな分別品目として、製品プラスチックの分別収集を実施することを計画している。さらにはリユースの推進も、現在検討中だ。

④ 製品プラ等の対策として、プラスチック素材できて

A 太田町長

⑤ 『ジモティー』は研究し、和気町についてもリユースの方向を今後模索し、民間企業とも相談しながら進めていく。

意見

『ジモティー』を活用して、愛知県名古屋市の官民連携のリユース拠点(ジモティースポット名古屋)今年10月開設し、1か月間で約3200tのごみの減量を試算している。和気町もこれに倣い、不用品をリユース、民間連携リユース事業として進めることを期待する。

※ジモティー

様々な情報を都道府県別や市区町村別に一覧した民間情報サイト。『売ります・あげます情報』『不動産情報』『求人情報』等カテゴリー別に、利用者の目的に応じて分類された情報が掲載され、利用者は無料で情報交換することが可能。誰でも簡単に利用できることから、月間で約1千万人に利用されている。

日笠バラ園の運営は

Q ① 入園料はなぜ取らないのか。

- ② 世界バラ会議 福山大会2025に出場してはどうか。
- ③ 今後の日笠のバラ園の今後のバラ色の絵は。

A 岡 産業振興課長

① 無料の理由は、多くの方に気軽にバラ園に足を運んでもらい、美しいバラや周りの風景なども楽しんでもらうことだ。有料化は、収入が得られるという大きなメリットがある反面、入退場者の管理などに伴う人員の強化が必要となるなどの課題もある。慎重に検討した上で、来年度以降の方針を決めていく。

② 日笠バラ園のバラまつり期間中であり、参加については、福山市の大会事務局やバラの管理会の方とも相談しながら判断したい。

③ 地域に即した観光施設として多くの方が訪れ、美しいバラを鑑賞できる魅力ある施設を目指し、今後も地域住民や団体との連携を大切にしながら、来園客の満足度向上に努めていく。

A 太田町長

③ 日笠バラ園の今後については、地域との連携を大切にいくのが必要と考える。管理をする方の高齢化の実態もあり、今以上に広げていくのは難しいと考える。楽しみにして来る方も多いので、期待を裏切らないように、今後の在り方についてよりよいものを考えていきたい。

※世界バラ会議

今年5月に福山市で開催(3年に1度の開催)される世界最大のバラに関する国際会議のことで、40か国が加盟する世界バラ会連合会が主催する。大会には、バラの研究家、生産者、愛好家など、世界のバラの関係者、約600人から700人が一堂に会し、バラの講義や庭園ツアー、優秀庭園賞の決定、殿堂入りのバラの審査、決定などが行われる。本会議は、5月18日から24日までの7日間。



和気町型アダプト事業を展開できないか

A

地域の協力を得て
実施へ向け検討したい

動画はこちら



山本 泰正 議員



Q 町道の路線数と総延長は。また、その管理状況は。

A 西本 産業建設部長

現在の町道は951路線・総延長は349km。そのうち集落と集落を結ぶ主要道の一部については、路肩の草刈りなどを業者に委託している。その他の町道については、各行政区において草刈りなど協力願っている。

Q 町道の通常管理の状況と年間経費は。

A 西本 産業建設部長

町道を良好な状態に保つため舗装のパッチング、主要道の草刈り・支障木の伐採処理などが主な事業だ。通常の年間経費については、舗装修繕工事に約1400万円、路肩の草刈り及び支障木の除去などに約800万円となっている。

Q 和気町へ交付されている道路関係の基準財政需要額とその積算は。

A 西本 産業建設部長

町道管理に対する基準財政需要額※は町道の延長と面積などで、地方交付税の算定基礎数値

となっている。その額は近年の平均で約1億6千万円だ。

Q 中山間地域では人口減と高齢化により、町道はもとより農道・林道・河川などの維持管理に苦慮している現状だ。10軒あった集落も3軒となり高齢者のみの集落や、5・6軒あった集落も消滅しつつある状況も見受けられる。多額の交付税措置があるとはいえ、和気町の財政状況からして、すべての町道の維持管理を行政が業者委託で実施することは到底無理だとは認識している。そこで、岡山県が実施しているおかやまアダプト※に準じた和気町型アダプト事業は展開できないか。例えば、ランク付けし、Aランクは雑木等の徐去の必要な道路、Bランクは、道路の法面の大きい道路、Cランクは、路肩の草刈りのみとし、各行政区と委託契約し、地域の出会い仕事を助成できないか。

A 西本 産業建設部長

道路の維持管理については苦慮している状況だ。地元区との委託契約により、是非前向きに検討したい。

Q 今回の町政懇談会でも一部の会場で道路管理が喫緊の課題だとの意見もあった。太田町長のボトムアップ方針に沿う事業だと思いが町長の考えは。

A 太田 町長

町道の維持管理については、行政としても苦慮している。町政懇談会の2会場で見聞をいただいたが地域の実情については、十分認識している。人口減と高齢化の進む中、地域との委託契約ができ、地域住民の方の協力を得られれば感謝したい。



管理に苦慮している町道

※基準財政需要額

各地方団体の財政需要を合理的に測定するために、当該団体において算出された額。

※おかやまアダプト

活動団体として認定を受けた住民や企業が、道路・河川などを定期的に清掃・美化活動を行うもので、町内の認定件数は70件。



表紙写真を 募集しています



あなたが撮った写真が『議会だより』の表紙になります！

発行月（1、4、7、10月）にふさわしい町民の笑顔やイベント行事などの写真をお送りください。

採用になったお写真は、『議会だより』表紙に掲載するとともに、誌面で紹介させていただきます。また、和気町PRグッズを差し上げます。

*詳しい応募要項は、和気町議会ホームページをご覧ください。事務局までお問い合わせください。



写真はイメージです。

今月の表紙

「笑顔と幸せに包まれた一年になれ」



一部加工・トリミングして掲載しています。

撮影場所：和気町大中山

撮影者：議会広報編集委員会

コメント：大中山では毎年1月2日に獅子舞がやってきます。訪問先ではお正月に集まったご家族皆さんが出迎えます。かわいい笑顔弾けるベストショットが撮れました。

編集後記

編集委員会委員として2年間、議会広報誌の編集に携わりました。その間、私なりに目指したものはクオリティーです。いくら立派な議会であっても、町民の皆様には伝える手段の一つである広報誌の正確性や、品質が低ければ台無しになります。とはいえ、大きな失敗もあり、反省ばかりですが、おかげさまで何とか8回の編集を終えました。

さて、和気町の議会広報誌には、多くのQRコードがついています（今号は15か所）。スマホをかざしていただければ、簡単にその部分の動画が再生されます。議会広報誌は、要約であり、フル映像へ導く手段でもあります。正確な内容は映像で確認いただければ幸いです。ぜひ試してみてください。

（我澤隆司）



和気町議会だより 第75号 令和7年1月25日発行

和気町議会広報編集委員会 岡山県和気郡和気町尺所555番地 TEL0869-93-1121(代)
和気町議会ホームページ <https://www.town.wake.lg.jp/gyoseijoho/wakichogikai/>



和気町議会
ホームページはこちら！

和気町議会 検索